

2022年12月1日

京都府農林水産部農政課企画政策係 御中

(連絡先)

京都市中京区烏丸通二条上る蒔絵屋町 258 コープ御所南ビル 4階

京都府生活協同組合連合会

専務理事 高取 淳

電話:075-251-1551 FAX075-251-1555

「京都府農林水産ビジョン(中間案)」についての意見

以下、意見を述べますのでよろしくお願い致します。

「第2章 これまでの推進状況」

戦略4 人づくりの裾野を広げ多様な人材を育む産業・地域を実現する(P.6)について。

新規就業者数が農業、畜産業、林業で目標値を上回っていることは、喜ばしいことだと考えます。水産業が目標値を下回っていることは残念ですが、府漁業の情報や「海の民学舎」等の支援制度の周知強化、基幹漁業経営体の経営力向上を支援する等で就業者の増加や定着に結び付けてほしいと思います。また、協同組合(特にJA、漁協、森林組合)等とも連携・協力をされ、すすめていかれることを希望します。

「第5章 目指す姿を実現するための重点戦略の展開。2 重点戦略の考え方と施策方向」

戦略1 施策方向II

4. 京野菜の生産拡大(P.16)

<主な取組>のところで「農地不足が深刻な山城地域等の京野菜生産法人と中北部地域とのマッチング(南北連携)により規模拡大を促進」とあります。重要な取組みとして具体化をすすめてください。

施策方向III

14. 生産から消費までの安心・安全の確保(P.19)

「生産者、加工、販売業者への啓発や巡回調査などを通じて、食の安心・安全の確保に万全を期します。」の<主な取組>について滞りなくすすめてください。とりわけ、「小規模の食品関連事業者が原料原産地表示等の新たな制度に対応できるよう、「食品表示講習会」等による情報提供やきめ細やかな指導・支援を実施」については、消費者が安心して食品を選択できるために大変重要であると考えます。

戦略3 施策方向II

10. 食育・地産地消の推進(P.27)

「食への関心を高め、地産地消を進めるため、京都ならではの食材・食文化を活用し、家庭、学校、地域など多様な関係者と連携して生涯にわたる食育を推進します」に賛成します。また、協同組合(特にJA、漁協、生協)等とも連携・協力をされ、すすめていかれることを希望します。また、「将来を担う若い世代の食に対する意識を向上させ、望ましい食生活の実践につなげるため、食に関する正しい知識の浸透を図ります。」に賛成します。大学生だけでなく、小、中、高の学校教育の場でも取り組まれるように希望します。

戦略4 施策方向Ⅱ

農林水産業・農山漁村を支える人材の裾野拡大 (P. 30)

特に「6 持続的な地域農業の実現」「7 地域を支える多様な担い手の確保」は京都府における持続可能な農林水産業に育てていくためには、大変重要な取組みとなります。関係各所と連携を強化し、すすめていかれることを希望します。